

研究通信

No.1

令和6年度の研究について

東京都立墨田特別支援学校

令和6年6月28日

全校研究テーマ

「学習指導要領を踏まえた授業改善（各教科等での育成すべき資質・能力(三つの柱)を考える）～学びに向かう力、人間性等を育むために～」

学習指導要領改訂を踏まえ、昨年度からは、2年間を掛けて各教科等のグループで学習指導要領における「育成すべき資質・能力(三つの柱)」に焦点をあてた全校研究に取り組んでいます。昨年度は、各教科等で学習指導要領に示されている「知識及び技能」で特に児童・生徒に身に付けさせたいこと大事にしたいことは何か、それを教材や指導の工夫でどのように学ばせ、また「思考力、判断力、表現力等」をどのように伸ばさせるのかについて、各教科等で研究授業等を行い、授業改善を進めてきました。今年度は、児童・生徒が生活の中で生かせる力を高め「学びに向かう力、人間性等」を育むためにどのような指導や指導の工夫をするのかについて、授業研究を進めていきます。

全校研修会

研究テーマに沿って、外部講師による全校研修会を予定しています。

実施日時 令和6年 7月31日(水) 14:30～16:30

外部講師 下山 直人先生

テーマ 『学習指導要領を踏まえた授業改善(各教科等での育成すべき資質・能力(三つの柱)を考える)～学びに向かう力、人間性等を育むために～』

研究発表会

教員を教科ごとのグループに分けて、研究発表会を行う予定です。

実施日時 令和7年 1月15日(水)・1月22日(水)

昨年度検証した「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」を踏まえ、どのように「学びに向かう力、人間性等」につなげていくか、それぞれの研究成果を発表します。

夏季研修会

外部専門家による夏季研修会を予定しています。

日時	講師	講演テーマ
7月23日(火)	小池 真琴先生 (言語聴覚士)	「子ども理解のためのSTからの視点 ～学びに向かう力・社会で生きる力に向けて～」
7月24日(水)	松村 裕美先生 (臨床発達心理士)	「心理アセスメントや心理学からとらえる児童・生徒理解と家庭や社会とのつながりについて」
7月25日(木)	大澤 ちひろ先生 (臨床発達心理士)	「太田 Stage 評価 ～評価方法のガイドラインと指導の糸口～」
7月26日(金)	嶺田 和明先生 (理学療法士)	「姿勢について考えてみよう。座位姿勢を中心に！！」

※テーマは未確定で、変更する場合があります。

研究授業

所属する各教科のグループテーマに沿って、全教員が一人一回個別に研究授業を計画・実施いたします。多くの教員から指導・助言を受けることで、授業力向上を目指します。

授業参観

研究授業を参観することで、授業改善に役立てます。教員同士授業を参観し、改善点を助言し合うなど、持続可能な授業力の向上システムを構築していきます。

教材・教具開発

児童・生徒の障害特性に応じた教材・教具を教員が作成します。作成したものを、全教員で共有し、授業改善につなげていきます。

次回の研究通信は、夏季研修会の様子をお伝えします。